

学位被授与者氏名	黒木 由貴子 (くろき ゆきこ)
論文題目	触法障害者は障害福祉サービスを通して「福祉」をどのように見つめていたか～非行からの立ち直り（デシスタンス）に焦点を当てた当事者の視点から～
論文審査結果の要旨	<p>措置から契約に基づくサービス提供へと福祉サービスの提供方法が変わることにより、生活の質の向上や生命の維持に福祉サービスが不可欠な場合でも、網の目からこぼれ落ちるケースも増えている。しがたって、支援を望まない人々にどのように関わることができるのか、研究を通して明らかにしていく必要があるが、現実的には多くはない。このようななかで本研究は、難しいテーマに挑んだ数少ない挑戦的研究といえることができる。</p> <p>得られた知見の解釈は妥当と判断でき、発展的な内容となっている。また、研究目的、方法、考察、参考文献等についての問題はない。その一方で課題としては、考察部分をさらに深め、支援を望まないケースへの関わり方全般に対する示唆を具体的に示す必要がある。また概念整理が不十分である印象も否めない。</p> <p>2023年2月16日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館1階会議室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>